

第72回日本ハンドボール選手権大会(男子の部) presented by KANKO

戦況票

- 大会日 2020年12月6日 (日)
- 会場: ジップアリーナ岡山 府県名(岡山県)
- デイビジョン: 男子 ○ 試合No: 23
- スコア:

大崎電気 33 $\left(\begin{array}{cc} 20 & - & 16 \\ 13 & - & 18 \end{array} \right)$ 34 豊田合成

- 見出し:

豊田合成が大逆転で2年ぶり2度目のV

- 特記事項:

立ち上がり大崎電気の7人攻撃の奇襲から、元木のカットイン、高間のサイド、森のポスト、小山のミドルなどで次々とゴールネットを揺らす。豊田合成は、ディフェンスのリズムが狂い、GKとの連携も取れずに大崎電気に先行を許し、20分過ぎには9-15と6点のビハインドとなる。それでも26分過ぎから橋本、水町、小塩の3連取で追い上げ、16-20で前半を終了する。後半も7人攻撃を続ける大崎電気に対して豊田合成は、ディフェンスシステムを変更するとこれが功を奏し、GKとの連携でのシュート阻止や相手ボールを奪ってエンプティゴールを決めるなど、先行する大崎電気に食らいつき、13分、15分、19分に同点に追いつくが、その度に大崎電気に突き放されてリードを奪えない。24分小山のカットインでリードを3点に広げた大崎電気だったが、豊田合成がベンチワークとバラスケスの打点の高いパワフルなミドルで27分半に33-33の同点に追いつく。残り2分半の熾烈な攻防は残り7秒でバラスケスが豪快なミドルで勝ち越し、初のリードを奪う。大崎電気も最後の攻撃でノータイムフリースローを獲得するが、無情にも枠外に外れて涙を飲んだ。豊田合成は2年ぶり2度目の優勝を大逆転勝利で飾った。

(記入者氏名: 津島 正司)